

日本医学会だより

JAMS News

2011年5月 No. 45
日本医学会

◆第78回日本医学会定例評議員会

平成23年2月23日に開催された。高久会長から、平成22年度年次報告、23年度事業計画の説明があった。引き続き、協議事項として、「日本医学会 医学研究のCOIマネージメントに関するガイドライン(案)の件」「第29回日本医学会総会役員人事の件」等が出され、承認された。また、本年度は「日本プライマリ・ケア連合学会」「日本手外科学会」の2学会の加盟が承認された。

◆第28回日本医学会総会

第28回日本医学会総会は、平成23年4月8日～10日、矢崎義雄会頭の下、「いのちと地球の未来をひらく医学・医療—理解・信頼そして発展—」をテーマに、東京で開催される予定であったが、3月11日に発生した東日本大震災の影響で総会のあり方を急遽見直すことになり、形態を変更しての開催となった。電子媒体やWebを活用してネット上での開催を予定している。

◆日本医学会加盟検討委員会

平成22年度第1回日本医学会加盟検討委員会は、平成22年11月10日に開催され、加盟申請の28学会についての審査を慎重に行い、その結果を日本医学会協議会に提出した。

平成22年度第2回日本医学会加盟検討委員会は、平成23年1月12日に開催され、審査方法についての検討を行い、2月23日の第78回定例評議員会に日本医学会加盟検討委員会報

告(平成21年3月)の新規加盟の審査基準の一部を改正する案を提出し、了承された。

◆日本医学雑誌編集者会議

平成23年3月2日に開催された第6回日本医学雑誌編集者組織委員会において、「医学雑誌編集のガイドライン」の作成を目的として、「第4回日本医学雑誌編集者会議(JAMJE)総会・第4回シンポジウム」を開催することが決定した。テーマ：医学雑誌編集のガイドライン、平成23年7月29日、13:00～16:00、日本医師会館小講堂で開催の予定。

◆日本医学会臨床部会運営委員会

臨床部会運営委員会は、日本医学会分科会の10の基本領域学会と2つの subspecialty 学会から委員構成されている。

運営委員会の下部組織には、専門医制に関する委員会、診療関連死に関する委員会等がある。

なお臨床部会会議、運営委員会等の議事録等は、本会のホームページ(<http://jams.med.or.jp/>)に掲載しているので、ご覧いただきたい。

◆日本医学会臨床部会利益相反委員会

臨床部会利益相反委員会は、平成22年11月15日開催の第2回委員会にて、「日本医学会医学研究のCOIマネージメントに関するガイドライン(案)」についての議論を重ねた後に、12月6日に108分科会へガイドライン案を送付して、意見を求めた。平成23年1月21日開催の第10回日本医学会臨床部会運営委員会に

は曾根三郎委員長がオブザーバーとして出席し、ガイドライン案を説明した。

最終案はその後、2月23日開催の第78回日本医学会定例評議員会において説明され、分科会の了承を得た。なお、ガイドラインは本会ホームページ (<http://jams.med.or.jp/guideline/index.html>) からダウンロードできる。

◇日本医学会医学用語管理委員会

平成22年12月2日に平成22年度日本医学会分科会用語委員会を開催した。「英和辞典WEB版について」、第28回日本医学会総会登録者に配布予定の「日本医学会医学用語辞典CD-ROM版(2011年)について」、「和英辞典WEB版の仕様について」、第28回日本医学会総会時に開催予定であった「一般公開シンポジウムについて」等が主な議題であった。

◇第12回日本医学会公開フォーラム

「心の病—うつ病を中心として—」をテーマに、平成23年6月4日(土)13:00~16:00、日本医師会大講堂において開催する。組織委員長：樋口輝彦(独立行政法人国立精神・神経医療研究センター理事長・総長)。市民を対象とした公開フォーラムであり、参加希望者は、郵便はがき、FAX、本会ホームページ (<http://jams.med.or.jp/>) のいずれかの方法でお申し込みいただきたい。参加費無料。プログラムは、下記のとおり。終了後、Web上にて映像配信する。

1. 序論 今日のうつ病—早期発見から社会復帰まで/樋口輝彦(独立行政法人国立精神・神経医療研究センター理事長・総長)
2. うつ病はどのように診断されるか/神庭重信(九州大学大学院医学研究院・精神病態医学)
3. うつ病の病態はどこまで明らかになっているか/山脇成人(広島大学大学院医歯学総合研究科・精神神経医科学)
4. うつ病の治療はどのように進められるか/野村総一郎(防衛医科大学校・精神科)
5. 社会復帰を目指すうつ病患者を、周囲はどのように支えれば良いのか?/尾崎紀夫(名古屋大学大学院医学系研究科・精神医学)

◇第140回日本医学会シンポジウム

「炎症性腸疾患—最近の進歩—」をテーマに、平成23年6月9日(木)13:00~17:00に、日本医師会館大講堂において開催予定。組織委員は、菅野健太郎、日比紀文、畠山勝義の各氏。参加希望者は、上記フォーラムと同じ方法でお申し込みいただきたい。参加費無料。プログラムは、下記のとおり。終了後、ホームページにて映像配信する。

序論/日比紀文(慶應義塾大・内科学), I. わが国の炎症性腸疾患の疫学, 病因, 病態の最新情報 1. 潰瘍性大腸炎/松本誉之(兵庫医科大・下部消化管科), 2. クロウン病/金井隆典(慶應義塾大・消化器内科学), II. 炎症性腸疾患内科治療の進歩と課題(ガイドラインをまじえて) 3. 潰瘍性大腸炎/上野文昭(大船中央病院), 4. クロウン病/渡辺守(東京医歯大・消化器内科), III. IBD治療(内視鏡治療, 外科治療) 5. クロウン病の内視鏡治療(拡張術)の適応と限界/山本博徳(自治医科大・消化器内科), 6. クロウン病に対する外科治療の進歩/佐々木巖(東北大・生体調節外科), 7. 潰瘍性大腸炎に対する外科治療の適応とその進歩(Colitic Cancerを含む)/渡邊聡明(帝京大・外科学)

◇医学賞・医学研究奨励賞

平成23年度日本医師会医学賞・医学研究奨励賞(旧医学研究助成費)の推薦依頼を日本医師会雑誌の5月号に公示。要項は本会に問い合わせいただきたい。受付期間は、5月15日~7月5日。推薦書は、公示日より日本医師会ホームページ (<http://www.med.or.jp/>) からダウンロードできる。

◇日本医学会への加盟申請

平成23年度の日本医学会への新規加盟申請は、5月15日に公示(日本医師会雑誌等)し、7月31日に締め切る。申請書は、公示日より本会ホームページ (<http://jams.med.or.jp/>) からダウンロードできる。